

TOEIC 受験報告と業務への活用

○西山哲広^{A)}

A) 情報通信技術支援室 情報教育支援グループ

概要

授業形態がオンラインから対面へ戻る中、外国人学生支援に変化が出てきた。以前は、外国人学生の人数も少なく、必要が生じた際も翻訳機能を使ってメールでやり取りするなどやり取りが可能だった。ここ数年で頻繁ではないが対面で対応する状況が増えており、英語力不足を実感することが多くなった。

そこで、基本的な語彙力の獲得と苦手意識の改善を目標に「TOEIC Listening & Reading Test」を自己研鑽として受験した。

その学習経過/結果の紹介と業務への影響、および活用に向けた今後の目標について記載する。

1 受験目的と学習方針

受験するに至った目的と学習の方針について記載する。

1.1 受験目的

概要に示した通り、現状では簡単な意思の疎通もできず支援業務に支障が出ることもあった。原因は聞き取り能力と語彙力、および苦手意識であったため、支援業務の質を向上させることを目的として受験を決定した。「語彙力の向上」と「苦手意識の改善」の2点を達成の方針として設定し研鑽することにした。

1.2 研鑽目標と結果

英語学習から離れて相当の年月が経過していることと業務状況を考慮して、今回は学内の語学に関する研修は利用せず独力で学習を行った。試験は年間で2度受験(7月、12月)することを決め、1度目の受験では現状を把握し、基準となるスコア知ることを方針とした。2度目の受験では1度目のスコアから得られた強みと課題を踏まえて英語に対する理解度と知識を深めることを方針とした。

現状把握のために「公式 TOEIC Listening & Reading 問題集 9」を購入し一通り問題に解答した結果、スコア予想は400程度となりこの時点でリーディングの方がより弱いという結果も得られた。

そこで、2度の受験を通しての目標スコアは、TOEIC 公式サイトで公開されている「TOEIC Listening & Reading Test 公式データ・資料」内の「TOEIC スコアとコミュニケーション能力レベルとの相関表」[1]を参考に500で設定し、本格的に学習を開始した(500は限定的な場面で自分の意志が伝えられるレベル)。

今回、1度目の受験で目標スコアを達成できたため、2度目の受験では目標を2022年度の全体平均スコアである608[2]に設定し1度目の受験結果を元に更に英語力を高められるよう8月以降も学習を継続した。

結果、2度目の受験ではスコア655となり、スコア上の目標は達成することができた。

2 1 度目の受験(学習内容と受験結果/結果分析)

1 度目の受験に関する詳細との通りになった。

2.1 試験概要

予定通り7月に受験した。受験科目は Listening & Reading で、簡単に説明するとこの試験はレコーダー音声による英語の会話に対する正解を選ぶ問題であるリスニングと、英語でのみ記載された問題を読み回答を選択するリーディングの2種類の能力を判定するものである。

表 1.1 度目の受験：受験日と受験内容

受験日	受験科目
2023年7月23日 午前	TOEIC Listening & Reading

2.2 学習内容

学習は、参考書/問題集を選定するところから始めた。「通勤を含む移動時間や空き時間に学習できること」「レベル別に学習が継続できること」を重視して選定した。使用した参考書籍を以下の表に記載する。

表 2. 使用学習参考書の紹介

書籍名	特徴
TOEIC テスト公式問題集 新形式問題対応編	公式の問題集。
TOEIC テスト新形式精選模試リーディング 2	5 回分の模試が収録されており、他の問題集に比べて問題量が多いが、高難易度。
キクタン TOEIC L&R テスト SCORE 800	本だけではなく、音声を活用しリズムで単語を学習する特徴がある。リズム音声があまり馴染まなかった。

学習は主に通勤時間を利用し、毎日 30 分程度行った。交通機関に乗りしている間はテキストと音声を併用し、徒歩の間は音声学習を進めた。模試の取り組みは主に週末を利用して実施したが購入した書籍の難易度が高く、学習と復習に非常に苦労してしまった。これらの学習を3月から7月まで続けた。

2.3 受験結果(スコアと分析)

達成スコアは 590 で目標の 500 をクリアすることができた。内訳等は以下の表に示す通りであった。

表 3.1 度目の受験：達成スコアと目標との比較

達成スコア			目標スコア	目標との比較
590	330(Listening)	260(Reading)	500	+90

公式スコア証明書で示される詳細レポートからリスニング/リーディングそれぞれの結果を確認した。証明書はそれぞれの分野ごとに平均からどの程度の位置にいるのかを明示しているで、強みと弱みが把握できる。

得られた情報から次回試験の対策優先度をそれぞれの分野で「現状維持」「要対策」と設定し、以下のリスニングを表 4、リーディングを表 5 に記載する。「現状維持」はほぼ平均スコアが獲得できたもの、「要対策」は大きく平均を下回るスコアだったことをそれぞれ示している。

表 4.1 度目の受験：リスニングスコア分析

No	測定対象の能力	対策の要否	平均スコアとの関係
1	短い会話、アナウンス、ナレーションなどの中で明確に述べられている情報をもとに要点、目的、基本的な文脈を推測できる	現状維持	平均スコア以上
2	長めの会話、アナウンス、ナレーションなどの中で明確に述べられている情報をもとに要点、目的、基本的な文脈を推測できる	現状維持	平均スコア以上
3	短い会話、アナウンス、ナレーションなどにおいて詳細が理解できる	要対策	平均スコア以下
4	長めの会話、アナウンス、ナレーションなどにおいて詳細が理解できる	要対策	平均スコア以下
5	フレーズや文から話し手の目的や暗示されている意味が理解できる	要対策	平均スコア以下

表4の通り、特にNo.3「短い会話、アナウンス、ナレーションなどにおいて詳細が理解できる」に関しては、リスニング最初の問題に該当し、試験本番の環境に対して慣れがなく聞き逃した問題があることが分かっているため、次回試験では環境慣れという意味で対策はできると判断した。

No.4「長めの会話、アナウンス、ナレーションなどにおいて詳細が理解できる」とNo.5「フレーズや文から話し手の目的や暗示されている意味が理解できる」は、会話から状況を推測し回答する必要がある。長いフレーズや複数人物の会話が重なることで聞き逃しや理解できない単語が現れてしまったため、自信のある回答ができなかった。この点については、教材を何度も聴き理解を深めるなどして地道に進めるしかない判断した。次回の試験ではこの2点に重点を置いて学習を進めることにした。

表 5.1 度目の受験：リーディングスコア分析

No	測定対象の能力	対策の要否	平均スコアとの関係
1	文書の中の情報をもとに推測できる	現状維持	平均スコア以上
2	文書の中の具体的な情報を見つけて理解できる	現状維持	平均スコア以上
3	ひとつの文書の中でまたは複数の文書間でちりばめられた情報を関連付けることができる	要対策	平均スコア以下
4	語彙が理解できる	要対策	平均スコア以下
5	文法が理解できる	要対策	平均スコア以下

表5の通り、No.3「ひとつの文書の中でまたは複数の文書間でちりばめられた情報を関連付けることができる」は、複数の文書を理解し、相互に関係する内容を理解する力が問われるため、問題数をこなすというのが一番の近道と考えられる。No.4「語彙が理解できる」はリスニング中心に学習していた単語学習に加えて、読んで理解する学習を意識する必要がある。No.5「文法が理解できる」についてはNo.3と同様に問題数をこなすことが重要と考えた。次回の試験ではこの3点に重点を置いて学習を進めることにした。

試験独自の課題として、リーディングは後半になるほど長文問題が出題されることから今回の試験では後半の問題は回答に時間を使えなかった。日々の学習でも試験時間を意識して取り組めていなかったため、集中力の維持と共に、時間配分も挙げられる。

今回使用した問題集の難易度が高く解説を理解するために必要な知識も必要であったため、2度目の受験時には実力相応の難易度の問題集に切り替える必要があることも分かった。

3 2度目の受験の詳細

3.1 試験概要

受験日と試験内容は表6の通りである。受験科目は1度目と同様に Listening & Reading を12月に受験した。

表 6. 2度目の受験：受験日と受験内容

受験日	受験科目
2023年12月10日 午前	TOEIC Listening & Reading

3.2 学習内容

前回の反省を踏まえて参考書/問題集を選定し直し、リスニング/リーディング共に以下の表に記載する新しい書籍を使用することにした。

表 7. 使用学習参考書の紹介

書籍名	特徴
TOEIC L&R テスト 至高の模試 600 問 新形式 問題対応	問題は3回分だが、実際の試験問題に合わせた構成で、解説が豊富。発売は2017年であるが内容に問題はない。
TOEIC L&R TEST 出る単特急金のフレーズ	携帯性が高く、音声もダウンロード可能。無駄がなく使いやすい。
TOEIC L&R TEST 出る問特急 金の文法	文法問題に特化した書籍。じっくり選ぶ時間が取れず、単語書籍が使いやすいだったので選定した。
abceed (エービーシード)	基本無料で利用できる英語学習アプリ。上記の教材を含む複数の教材を管理でき、音声も無料で利用できるため、学習状況の管理に使用した。

前回と同じく、学習は主に通勤時間を利用し、平日はリスニングと単語学習を30分程度行った。音声は前回と異なり淡々と例文を読み上げる形式で、個人的には頭に入りやすく取り組みやすさを感じた。

リーディング学習もテキストを変えたことで進めやすくなった。これらの学習を8月から12月まで継続したが、基本的な文法が直接的な弱点と判明し12月に文法学習の書籍を追加した。

3.3 受験結果(スコアと分析)

達成スコアは655で目標の620をクリアすることができた。内訳等は以下の表に示す通りであった。

表 8. 2度目の受験：達成スコアと目標との比較

達成スコア			目標スコア	目標との比較
655	380(Listening)	275(Reading)	608	+47

前回と同様に公式スコア証明書の詳細レポートでリスニング/リーディングそれぞれの結果を確認した。前回と比べてスコアが「上昇」「変化なし」「下降」の3種類で分類し原因と対策を検討し、次回試験での対策優先度を「現状維持」「要対策」と設定した。リスニングの分析を表9、リーディングを表10に記載する。前回同様「現状維持」はほぼ平均のスコア、「要対策」は大きく平均を下回るスコアであることを示している。

表 9.2 度目の受験：リスニングスコア分析

No	測定対象の能力	前回からの変化 (平均スコアとの関係)	前回設定した 対策の要否
1	短い会話、アナウンス、ナレーションなどの中で明確に述べられている情報をもとに要点、目的、基本的な文脈を推測できる	スコア上昇 (平均スコア以上)	現状維持
2	長めの会話、アナウンス、ナレーションなどの中で明確に述べられている情報をもとに要点、目的、基本的な文脈を推測できる	スコア維持 (平均スコア相当)	現状維持
3	短い会話、アナウンス、ナレーションなどにおいて詳細が理解できる	スコア上昇 (平均スコア以上)	要対策
4	長めの会話、アナウンス、ナレーションなどにおいて詳細が理解できる	スコア上昇 (平均スコア以上)	現状維持
5	フレーズや文から話し手の目的や暗示されている意味が理解できる	スコア上昇 (平均スコア以上)	要対策

表 9 の通り、前回と比較して全ての測定においてスコアを上げることができた。特に前回要対策と設定し重点的に学習した No.3 と No.5 についても平均スコアを超えることができた。いずれの分野も教材を何度も聴き続けて英語の会話に慣れるようにする学習を行ったが、その結果が出たものと考えられる。その他の能力についてもこの学習の結果、前回に比べて理解度が深まったと思われる。会話に特化した教材などの導入できれば、さらに理解度が深まると考えられる。

表 10.2 度目の受験：リーディングスコア分析

No	測定対象の能力	前回からの変化 (平均スコアとの関係)	前回設定した 対策の要否
1	文書の中の情報をもとに推測できる	スコア下降 (平均スコア以下)	現状維持
2	文書の中の具体的な情報を見つけて理解できる	スコア維持 (平均スコア相当)	現状維持
3	ひとつの文書の中でまたは複数の文書間でちりばめられた情報を関連付けることができる	スコア上昇 (平均スコア相当)	要対策
4	語彙が理解できる	スコア上昇 (平均スコア相当)	要対策
5	文法が理解できる	スコア上昇 (平均スコア以下)	要対策

表 10 の通り、前回試験で要対策と設定した No.3、No.4、No.5 について全てスコアを上げることができた。しかし、No.1 のスコアが下がってしまった。原因は、前回試験に比べて単語の理解度が高くなった結果、問題ごとの時間が長くなったため全ての問題に解答できなかつたと分析している。時間配分を意識して臨んだが、1問にこだわってしまい全問解答できなかつたことは次回の反省としたい。

No.5 は前回よりスコアは上がったが、文法理解度の低さに気付くのが遅かったため学習が足らず結果的に平均を下回ってしまった。全体的にリーディングは学習が不足していると実感した。しかし、スコア自体は上昇しており一定の効果はあったので継続により良い結果が得られる可能性が高い。

今回使用した問題集や参考書は前回と比較してより効果の高いものを選定できたと感じており、当面は今回の学習を継続していくのが良いのではないかと感じている。

4 業務への活用

今回の研鑽と試験を経て学生側がこちらの語学能力に配慮してくれるという前提が必要ではあるものの、しっかり聞けばある程度は理解できるという気持ちを持つことができるようになった。そのため、慌てることが少なくなり本来の支援内容に意識を向けやすくなった。苦手意識の改善という目的においては今回のTOEIC受験に一定の効果を感じている。

しかし、読み聞きの語彙力が向上しても話すことは相変わらず難しいため、獲得した語彙を自分の言葉として発信する能力を獲得したいと考えている。

5 まとめ

今回1年間で英語学習とTOEIC受験を計画し研鑽したが、学習リズムを作ることが一番難しかった。業務と並行して学習を継続できたのは、日々得るものがあったことが大きかったと感じている。

当然、スコアだけで英語の能力を図ることはできないが、スコアから取り組みの結果がはっきりと分かるため、前向きな気持ちや自信を獲得するには良い方法のひとつになると感じた。

今後も学習を継続しながら、余裕ができれば会話や筆記にも取り組み「TOEIC Speaking & Writing Tests」も受験したいと考えている。

参考サイト、参考文献

- [1] TOEIC スコアとコミュニケーション能力レベルとの相関表
https://21606703.fs1.hubspotusercontent-na1.net/hubfs/21606703/library/default/toEIC/official_data/lr/pdf/proficiency.pdf
- [2] TOEIC Program DATA & ANALYSIS 2023 まとまる ～2022年度のTOEIC Listening & Reading 公開テストの平均スコアは608点～
<https://www.iibc-global.org/iibc/press/2023/p227.html>